

## 看護につながる形態機能学 正誤表

このたびは『看護につながる形態機能学』をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
本書につきまして、誤りがございましたので、以下のとおり訂正いたしますとともに、  
本書をご愛用いただいている皆様にご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し  
上げます。

メヂカルフレンド社 編集部  
(最終更新日：2017年3月31日)

### 第1刷

箇所	誤	正
p. 56 下から8行目	～アドレナリンや糖質コルチドが 分泌されます。～	～アドレナリンや糖質コルチコイドが 分泌されます。～
p. 142 下から9行目	～アンギオテンシ (angiotensin) は、 ～	～アンギオテンシン (angiotensin) は、 ～
p. 174 11～12行目	～メモリーB細胞がすぐに反応するの で、 <u>抗原</u> 産生が1回目のときより～	～メモリーB細胞がすぐに反応するの で、 <u>抗体</u> 産生が1回目のときより～
p. 175「memo*2」 の下2行目	～B細胞が <u>抗原</u> をつくるときには～	～B細胞が <u>抗体</u> をつくるときには～
p. 175「memo*2」 の下3行目	プラズマ細胞は <u>抗原</u> をつくと～	プラズマ細胞は <u>抗体</u> をつくと～

### 第1～4刷

箇所	誤	正
p. 67 下から12行目	炭酸イオンは、腎臓から排出されま す。～	炭酸イオンは、 <u>多くなりすぎると</u> 腎臓 から排出されます。～

### 第1～6刷

箇所	誤	正
p. 53 図 I-7② 図中文字	<u>腸</u> 絨毛	<u>微</u> 絨毛
p. 86 下から1～2行目	つまり瞳孔 <u>括約</u> 筋が収縮して～	つまり瞳孔 <u>散大</u> 筋が収縮して～